



薩摩川内市 市営住宅共益費で交付誤り 負担金を過小算定、未払額が発生

2月17日の議員全員協議会で、建設部建築住宅課より、市営住宅共益費に関する負担金の交付誤りが報告されました。祁答院町の会田住宅・砂石住宅において、本来市が負担すべき費用を過小に算定していたことが判明し、未払額が生じています。

空室増加時は市が負担する仕組み

市営住宅では、空室が増えるると入居者の共益費負担が重くなるため、空室率が25%を超えた場合、市が一定の費用を負担する制度があります。対象となるのは、浄化槽の電気料金（基本料金・ブローアー電気料金）・浄化槽維持管理費・

給水施設や高架水槽の電気基本料金です。

ところが今回、浄化槽電気料金のうち「ブローアー電気料金」を積算に含めていなかったことが判明。結果として市の負担金が不足し、管理組合への未払いが生じていました。

原因は市のチェック不足

平成30年度から負担金交付は指定管理者が行っていましたが、市が取扱要領に基づく支払い内容を適切に指示・確認していなかったこと

とが原因とされています。制度は存在していたにもかかわらず、市の管理監督が機能していなかったことになりました。

他住宅も調査中

サーキュラーパーク
構想のAIデータセン

ターは、350メガワットという国内最大級の

1、AIデータセンター計画—— 350MWをどう判断するのか

受電容量が想定されています。

本市に独自の評価体制はあるのか。環境許容性の判断基準は何か。重大な影響が判明した

3月市議会一般質問に立つ

3月4日（水）午後1時から、井上勝博議員は市議会一般質問（3番目）に登壇します。今回の質問は、①AIデータセンター計画の行政判断、②原子力防災における要支援者避難の実効性、③百次住宅の居住環境問題、④人工内耳支援制度の4テーマ。いずれも市民生活と安全に直結する重要課題です。

入居者への影響は

共益費は入居者の生活に直結する費用です。

空室増加の中で、本来市が負担すべき分が適

現在、他の市営住宅についても調査中で、

6月上旬に未払額を確定・報告し、7月から支払いを開始する予定

としています。また、4月支払分からは、市が直接算定し管理組合へ支払う方式に改めるとしています。

こちらくらしの相談所
(No. 640)
携帯 080-3996-0237 (井上)
なんでもご相談ください。



路面凍結に迅速対応

樋脇町城内の市道で、朝方の路面凍結によりバイクが

転倒する事例が発生したとの相談が寄せられました。現地では、県道下の空地から流れ出た水が市道に入り込み、冷え込む時間帯に凍結していることが確認されました。後続車からも連絡があったとのこと、二次被害が心配される状況でした。



県・市に対し、注意喚起の表示設置など応急対応を要請したところ、

たか。他住宅での同様の誤りはどの規模か。今後、詳細な説明と再発防止策の徹底が求められます。市の制度運

用とチェック体制の在り方が、改めて問われています。

場合、見直しの選択肢を持つのか。

責任、市主導の説明会開催の意思を問います。

原子力防災—要支援者避難は機能するの

原発事故時の最大の課題は要支援者避難です。単独避難困難者78人の個別計画は策定済みか。搬送完了までの所要時間を試算しているか。実動訓練で検証

しているか。「計画の有無」ではなく、「実際に動くのか」をた

（2面に続く）

(1面から続く)

百次住宅―室温50度の実態

市営百次住宅で、2階の部屋が、夏場50度近い室温になるとの相談が寄せられていました。室温の実測は行つたのか。断熱性能は

現行基準と比べてどうか。健康リスクへの具体策はあるのか。命に関わる問題として、市の対応を求めます。

人工内耳―助成の対象に

人工内耳は生活・学習に不可欠です。日常生活用具給付への追加を検討しているか。結論の時期はいつか。家族負担軽減へ具体的前

進を求めます。市民の命と暮らしを守る立場から、抽象論ではなく具体的な答弁を引き出す質問に挑みます。

ぜひ、3月4日(水)午後1時からの一一般質問を視聴ください。

エプロンおばさんの簡単クッキング (694)



サバみそ缶と
キャベツのホイコーロー風

材料 (2人分)

サバの缶詰 (みそ煮) 1缶 (190g)、キャベツ 1/6個 (150g)、ピーマン 2個、ごま油 大さじ 1、すりおろしニンニク 少々、トウバンジャン 小さじ 1

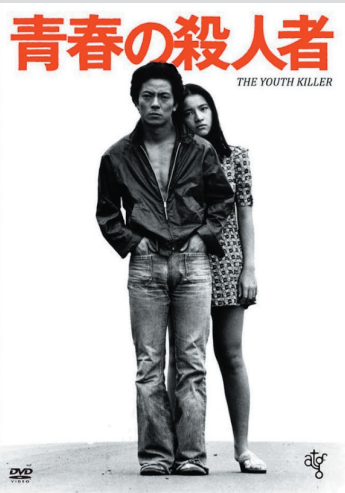
作り方

- ① キャベツは約 2cm 角に切る。ピーマンは縦半分に切り、種とヘタを取り除き、乱切りにする。
- ② フライパンにごま油を入れ、①を入れて中火で約 4 分、混ぜながら炒める。サバ缶を汁ごと入れ、ニンニク、トウバンジャン、しょうゆ大さじ 1/2 を加える。全体に混ぜながら約 1 分炒め合わせる。(15 分)

No. 70



シネマ太郎の映画評と案内 青春の殺人者 (1976)



青春の殺人者



人間の証明 犬神家の一族



1月31日に80歳で死去した長谷川和彦監督。東京大学在学中に今村昌平プロダクションに入社。30歳で監督デビュー。長髪。豪快な性格。動きが怪獣のゴジラのようなので愛称が「ゴジラ」。酒豪で、酔うと取っ組み合いの喧嘩や、暴れてお店を壊したりなど、武闘派の逸話が数々あったようです。生涯で監督作品は2作のみ。しかしこの2作は強烈な作品であり、熱狂的なファンも多くいます。この年公開の「太陽を盗んだ男」は以前、紹介しましたが、今回は1976年公開の初監督作「青春の殺人者」。中上健次の小説「蛇淫」が原作で、青年が両親を刺殺するという千葉県で実際にあった事件を描いています。成田空港近郊。原っぱが点在する郊外。22歳の斉木順(水谷豊)は親が新築してくれた店舗でスナックを営んでいます。彼はひとり息子で、実家は両親が営む自動車修理工場。おらかな父(内田良平)、息子を溺愛する母(市原悦子)。順と交際している幼馴染のケイ子(原田美枝子)がスナックを手伝っています。ある日、父から呼び出され、ケイ子と別れるよう説得されます。母もケイ子のことを快く思っておらず、別れさせたいと強く思っているのです。順は父との話合の最中、衝動的に父を包丁で刺してしまいます。血まみれになり、やがて動けなくなった父を呆然と見ている順。それをみた母は腰を抜き、恐怖。しかし、「こうなった以上、遠いまちにいつか二人で暮らそう。大学に通って、時効の15年が過ぎたら素直な良い娘をお嫁さんにもらって」などと言いつつ、出ます(当時の法律は殺人の時効があり、15年)。やがてケイ子の話が出る。母は逆上し、いっしょに死のう、心中しようと包丁を振り

返し始め、つかみ合いの末、ついに順は母を刺し殺してしまふのです。水谷豊が引き締まった肉体をさらし、のたうち回り、出口のみえない青春をまがき苦しみます。原田美枝子があどけなさを残しながら体当たりの演技。音楽はゴダイゴ。流麗なメロディーが対比的に順の絶望を際立たせます。長谷川和彦監督はデビュー作にしてキネマ旬報ベストテン1位。水谷豊は最優秀主演男優賞。配信でみることもできますが、追悼上映を期待。さて気になる次の映画は川内まこと文学館の名作シネマ上映会です。2月21日が角川映画の第1作「犬神家の一族」(1961年、市川崑監督)、2月22日が同じく第2作「人間の証明」(1974年、佐藤純彌監督)。みられた方はもちろん多いと思いますが、この機会にスクリーンでぜひ。

中俣先生のつれづれなるままに (825)



←中俣先生のブログはこちら

ぼくの身体は、すっかり人さまに迷惑をかける体になつてしまったようだ。ようだと書くのは、本人に少しもその自覚がないからだ。迷惑と思ひ込んでいるのは、ぼくの人。だから彼女は、ぼくの迷惑を人さまに背負わせないで、自分で抱え込んでいます。ぼくはぼくでそこまではないでもと、気を使いクタクタだ。例えば、支部会議には、乗せてくださる方もいる。すると、迷惑をかけるから断りなさいとくる。送ってまで下さるのに、必ず迎えに来る。時間通りきっちり来るから、その時間が迫ってくると、もっと居たいのに、でも彼女に迷惑をかけられないとお尻がむずむずする。こんなことでは痔が悪くなりそうだが、今のところ大丈夫だ。しかし、彼女の気持ちから分らないでもない。病気がひどい時には引きずるようになって、トイレまで運んでくれた。そのイメージがあるから、今の姿は彼女にとっては疑わしいのだ。おかげさまで貞子さん、ひざを悪くしてしまった。お父さんにさせるわけにはいかないと、やったことのない草刈り機で使った堤防の草刈りをしたからだ。二人いると、どちらかにがたが来ると、もうひとりの方にガタガタとがたが来る。夫婦二人のバランスが崩れるのだ。今は、崩れたバランスをどう立て直し生きているのかと考えている。姉たちには独り身の人が多い。姉たには彼女一人置いて死ぬわけにはいかない。と、崩れかけたバランスに息を吐いている。うしたらしいか。解けない方程式に迷惑が絡んでやっかいだ。(詩愛好家)